

第32回群馬県スポーツ少年団空手道交流大会 兼第40回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 第17回群馬県予選会 実施要項

- 1 趣 旨 県下の空手道を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の交流を図り、少年スポーツの健全な発展に寄与することを目的とする。
- 2 主 催 公益財団法人群馬県スポーツ協会 群馬県スポーツ少年団
- 3 後 援 群馬県、群馬県教育委員会、上毛新聞社、群馬テレビ、群馬県武道振興会
(予 定)
- 4 主 管 群馬県空手道連盟、群馬県スポーツ少年団空手道専門部会
- 5 日 時 令和3年5月5日(水) 受付 午前8:10～
- 6 会 場 ALSOK ぐんま総合スポーツセンター ぐんま武道館
住 所 前橋市関根町800 電 話 027-234-5555
- 7 種 目 計24種
◆組手競技(小学生全学年別男女別)計12種
(中学生全学年別男女別)計6種
◆形競技(小学生4年～6年男女別)計6種
- 8 競技規定 及び 競技方法 (公財)全日本空手道連盟競技規定に準ずる。
(1)組手競技
①競技時間は1分30秒のフルタイムとする。
但し、小学1・2年生は、1分のフルタイムとする。
②勝敗は、6ポイント先取り、同点の場合は「先取」、「先取」がない場合は判定により勝敗を決する。
③蹴り技は認めるが、足払いは全て禁止とする。
(2)形競技
①競技はトーナメント方式で行う。
②演武は2名同時に行う。決勝戦のみ1名ずつ行うものとする。
③ベスト8決定までは、全空連指定の「基本形」の中から選定し、演武する。
同じ形を繰り返し演武できるものとする。
④ベスト8以上は、全空連第1指定形、第2指定形の中から選定し、演武する。
同じ形を繰り返し演武できるものとする。
- 9 参加資格 (1)日本スポーツ少年団に登録済みの、団員及び指導者であること。
但し、申込責任者・監督及び指導者は、少なくとも2名のスポーツ少年団の理念を学んだコーチングアシスタントや、認定育成員または認定員の有資格者であることとする。
(資格のない者の申込みは受け付けない。)
(2)スポーツ傷害保険に加入済みであること。
(3)参加者は保護者の承認を得たものとする。
- 10 参加料 参加料1人2,000円、道場負担金2,000円を、4月5日(月)までに下記口座へ振込むこと。
なお、振込手数料は申込者が負担すること。
- 〈参加料等振込先〉

 - ・銀行名：群馬銀行 高崎東支店
 - ・口座番号：普通預金 0788551
 - ・名義：群馬県スポーツ少年団空手道専門部 部会長 古稻勝彦
- 11 出場制限 (1)個人組手は、各学年2名以内とする。
(2)個人形は、小学4、5、6年生とし、各学年2名以内とする。
(3)同一選手が両種目に出場することができない。
- 12 審判員 群馬県空手道連盟公認審判員
- 13 表彰 各種別とも3位まで表彰する。(3位までにトロフィーを授与する。)

- 14 関東ブロック 大会出場権 小学4・5・6年生、男女上位2名は、7月24日(土)～26日(月)に茨城県で開催される第40回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の出場権を得る。出場権を獲得した場合は必ず参加するものとする。
- 15 申込方法 (1)申込期日4月2日(金) (以降、一切受け付けません。)
(2)申込方法及び申込先 下記2カ所に申し込むこと。
①群馬県空手道連盟
『申込シート』は、群馬県空手道連盟のホームページからダウンロードしてください。送付先アドレスは、大会申込みmemoのシートにあります。
- | |
|---|
| <p>〈申込受付担当者〉
〒370-0852 高崎市巾着町3-22-5
矢澤 克敏 宛 090-9010-3866</p> |
|---|
- ②各市町村スポーツ少年団事務局
各市町村のスポーツ少年団窓口を確認の上、申し込んでください。
- 16 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策
本大会は、群馬県作成の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」および公益財団法人全日本空手道連盟作成の「感染拡大防止ガイドライン(大会用)」をもとに、下記のとおり感染拡大防止対策を実施する。
(1)参加チームは、引率者・監督・コーチ・選手・補助員・保護者で、当日来場する参加者全員の「健康状態申告書」を一括して大会受付にて提出すること。
(2)各参加選手1名に伴って入場できる観戦者は2名まで(大人でも子どもでも1名カウント)とし、事前に参加申込書と共に観戦者申込書を提出した者のみ入場可能とする。なお、観戦者申込書を1枚コピーし当日持参すること。
(3)試合中を除き、原則マスクを着用すること。当日未着用者は会場への入場を認めず、配布も行わない。
(4)会場内では、いかなる場面においても密集・密接を避け(他の人との前後左右の距離を極力2mとる)、特に対面での会話や接触行為(握手、ハイタッチ、ハグ等)や声を出しての応援は禁止とする。
(5)会場内での水分補給を除く飲食は原則禁止とする。
(6)各自ごみ袋を持参し、ごみを持ち帰ること。
(7)大会当日は、待機場所や観戦場所、動線誘導等、大会運営員の指示を遵守すること。
(8)大会当日や大会日から14日以内に37.0度以上の発熱や風邪、咳、痰、胸部不快感、強いだるさや倦怠感および味覚・嗅覚を感じない等の症状がある場合には、参加を認めない。
(9)大会日から14日以内に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は、参加を見合わせる。
(10)大会参加者に感染が判明した場合、速やかに群馬県スポーツ少年団本部(Tel027-234-5555)に連絡すること。その際、感染者の健康状態申告書に記載された情報を関係機関に公表する場合がある。
(11)大会会場に入場できるのは、事前に申込のされている引率者・監督・コーチ・選手・保護者のみとし、申込のない者の入場は認めない。(各団は周知徹底を図ること。)
(12)健康状態申告書に記入された内容の虚偽や、大会運営において著しい妨害行為(マスク未着用、大会運営員の指示に従わない等)が認められた参加者ならびにチームに、大会参加の取り消しや以降の活動へのペナルティを課す場合がある。
- 17 その他 (1)参加にあたっては、全日本空手道連盟検定品の安全具を装着すること。
ニューメンホー(V～VII)・拳サポーター(赤・青)・ボディープロテクター(女子のチェストプロテクター)・セーフティーカップ(男子のみ)・インステップガード・シンガード
※拳サポーターについては、小学生は小学生用リバーシブルとし、中学生は赤・青の全空連検定品とする。
(2)出場選手は、白布で作成した胸マーク(胸マークサンプルページ参照)を左胸にしっかりつけること。つけていない選手は反則とする。但し、選手の体格により、若干の大きさの変更は認めるものとする。(胸マークの他、スポーツ少年団団員証以外はつけてはならない。)
(3)組手に出場する選手はマウスシールドを着用すること。
(4)試合中にマスクをしまう袋を持参し、マスクを外す時はその袋にしまうこと。
(5)形に出場する選手で、気合いを出す場合はマスクを着用して競技すること。
(6)応急処置は大会事務局で行うが、その後の処置については、各自で行うこと。
(7)参加単位団は補助員2名を出すこと。
(8)新型コロナウイルス感染症の拡大等により、群馬県の警戒レベルの引き上げや施設の利用制限の変更等が生じた場合には、大会開催を中止する場合がある。